第１学年　第２章「文字と式」単元指導構想図

・整数の性質（小５）
・文字を用いた式（小６）
・正の数，負の数（中１）

・文字のもつ一般性について理解し,数量の関係や法則などを文字を用いた式に表したり，読み取ったりすることを通して，文字を用いた式のよさを実感させる。

・１次方程式（中１）
・式と計算（中２）
・多項式（中３）
・１次不等式（数Ⅰ）

＜学びに向かう力，人間性等＞

・数量の関係や法則などを数や言葉の式に表してその意味を読み取ったり，数を代入して調べたりすることで文字のもつ一般性を理解する。
・文字を用いた式に表したり，読み取ったりすることで思考過程を表現できるなどの良さを実感する。
・文字を用いた式の処理を数の世界と関連付けて考える。

数学的な見方・考え方

・いくつか調べて予想する
・同じように考える
・筋道を立てて考える
・考えやすい条件にする
・特別な場合を考える
・いつでもいえるように考える
・まとめて１つとみる
・条件を変えて考える
・多面的に考える

＜知識及び技能＞

・式をかくときの約束
・文字を用いた式の積，商の表し方
・１次式の意味
・１次式，項，係数
・文字を用いた式は，数量を求める計算の仕方を表しているとともに，計算した結果の数量も表していること
・等式と不等式の意味
・等式，不等式，左辺，右辺，両辺

＜思考力，判断力，表現力等＞

・文字を用いて，様々な数量や法則を式で表すことができる。
・文字を用いた式の数量や法則を読み取ることができる。
・文字に数を代入し，式の値を求めることができる。
・１次式と数との乗法，除法の計算ができる。
・１次式の加法，減法ができる。

第１学年　第２章「文字と式」単元指導計画

時	学習内容	知識・技能	思・判・表	主体的な態度	評価方法（記録）	指導に生かす評価（行動観察）
1	文字を使った式	知①		態①		・文字を使った式の意味が理解できる ・文字を使った式に関心をもとうとする
2	数量を表す式	知①			知①：小テスト	・数量を文字を使った式で表すことができる
3	式を書くときの約束（１）	知②				・文字を使った式の積や商の表し方の約束を理解することができる
4	式を書くときの約束（２）	知②				・式をかくときの約束にしたがって，文字を使った式を表すことができる
5	式による数量の表し方	知②				・式をかくときの約束にしたがって，いろいろな数量の関係を式で表すことができる
6	式の値	知②			知②：小テスト	・代入や式の値の意味を理解し，式の値を求めることができる
7	式の表す意味		思②	態②	態②：ノート（振り返り）	・文字を使った式が表している数量や数の意味を説明できる ・文字を使った式が表している数量や数の意味を読み取ろうとしている
8	たしかめよう（練習）		思②		思②：小テスト	
9	１次式とその項		思①		思①：ノート	・分配法則を使って項をまとめることができることを見出すことができる
10	１次式と数との乗法	知②				・１次式と数との乗法の計算の方法を理解し，その計算をすることができる
11	１次式を数でわる除法	知②				・1 次式を数でわる除法の計算の方法を理解し，その計算をすることができる
12	１次式の加法，減法	知③				・1 次式と１次式の加法，減法の計算の方法を理解し，その計算をすることができる
13	たしかめよう（練習）	知②③			知②③：小テスト	
14	文字と式の利用		思②	態③	思②態③：ノート（レポート）	・タイルの枚数を表す式を，いろいろな考え方でつくって説明することができる ・日常生活における問題を，文字を使った式を利用して解決しようとする
15	等式と不等式	知④				・等式や不等式の意味を理解し，それらを使って数量の関係を表すことができる
16	１章をふり返ろう	知①～④	思①②		知①～④思①②	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文字を使うことの必要性と意味を理解することができる。 ②文字を使った式における乗法と除法の表し方を理解することができる。 ③簡単な１次式の加法と減法の計算をすることができる。 ④数量の関係や法則などを文字を使った式に表すことができることを理解し，それらを式に表したり読み取ったりすることができる。	①具体的な場面と関連づけて，１次式の加法と減法の計算の方法を考え，表現することができる。 ②数量の関係を文字を使った式で表したり，式の意味を読み取ったりすることができる。	①文字を使うことのよさに気づいて粘り強く考えようとしている。 ②文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③文字を使った式を利用して，問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。